

東京都議選勝利へ!

2017年5月17日
No.465

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

5/13~15 沖縄闘争大高揚!



沖大学生自治会選挙勝利へ!

国鉄1047名解雇撤回! 戦争・民営化と闘おう

国鉄闘争全国運動 6・11全国集会

◆6月11日(日)13時~

◆江戸川区総合文化センター大ホール

(東京都江戸川区中央4-14-1)

【主催】国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を
支援する全国運動(国鉄闘争全国運動)

※写真は1600人が結集した昨年の国鉄大集会(江戸川区総合文化センター)



▼赤嶺沖大学生自治会委員長の 5・15沖大キャンパス集会での発言

今日は待ちに待った沖大キャンパス集会の日です。これを聞いているみなさん、僕らと一緒に今日、このキャンパスで怒りの声を上げましょう。

僕はまず、いまこのキャンパスの現状に怒りの声を上げたい。僕らは今日、「学生の貧困を変えよう」「戦争反対」「辺野古新基地建設阻止」—こう訴えて、5・15沖大キャンパス集会をやること訴えてきました。

これに対して、今おこなわれていることはなんですか？新歓スポーツ大会を入れて、全学休校にして、一年生はゼミ単位でスポーツ大会参加、こうやって学生が集会をやる日に、怒りの声が共鳴し、広がっていかないように、キャンパスを休みにする、学生をゼミ単位で強制的に違う場所に動員する、学生の怒りとか思いを知りもしないし、話もしない。これが大学なんですか？みなさん、これまでキャンパスのふざけたあり方、これも含めて僕らとともに声を上げましょう。

いま沖縄大学が隠したいもの、見せたくないものはなんですか？それは僕ら学生の怒りです。この大学では、4人に1人の学生が学費を払えないという理由で辞めていっています。これは全国平均の約10倍です。多くの学生がバイト漬けの日々を送っています。ゴールデンウィークずっとバイトだった、こんな人はキャンパスにたくさんいるんじゃないですか。クラス討論では、「ゴールデンウィーク何をしていましたか？」と聞きました。3人の人が応えてくれました。全員バイトをしていました。

僕の友人は、「この社会おかしいよね」「戦争とめないとね」—こんな話はキャンパスでできません。バイトがあって、授業に出て、授業が終われば、すぐバイト先にいかないといけない。一日の大半はバイト先で、ただ黙々と働くしかない。「バイト終わったら会おう」こういうふうにしても1、2時間バイトが終わっても出てこない。残業しているんです。しかも残業代がでません。でも職場が回らないから、人が足りないから、自分の身になって考えたら残業するしかない、そうやって多くの学生がバイト漬けの日々を送っているんです。それで、朝起きれない、授業に行けない、こういう人がいっぱいいます。いまこの大学で学生が勉強する、学ぶ、これを一番妨害しているのは、いまキャンパスを休校にしている沖縄大学じゃないですか？みなさん、僕らと一緒にこのふざけたキャンパスに怒りの声をあげようじゃないですか！

世界中で、団結して、社会を変えていく、こういう闘いが始まっています。僕は、学生が不毛にこのキャンパスで争い合わされ、競い合わされ、最後は奨学金という借金を背負い、「もうこれ以上抱え込むのは怖い」そうやって辞めていく。これを変えたいと思っている。

みなさん、僕らと一緒に立ち上がるというのは結構たいへんですよ。大学の職員は、僕らと一緒に集会に行こうとした学生に、「キャンパスで騒ぎを起こしたら、自治会の連中と話したら、行動したら奨学金に影響するかもしれないぞ、奨学金をもらえないかもしれないぞ」—こういうふうにしたんです！でもみなさん、実態は黙っていったって、学生はバイト漬けになって、成績落として、けっきょくまた有利子の奨学金を借りるしかない。こんな現実じゃないですか。学生を貧困にし、ボロボロにし、使い捨て。でも理事長は、「2015年4.5%利益があがった。でもこれからもっともっと利益を上げていく、金儲けしていく」って言っています。こんな社会を終わらせようじゃないですか！

僕はこの大学を変えられると思っています。韓国の学生は貧困と



就活地獄、こういう中でバラバラに分断されたけど、仲間と団結して一緒に学内でデモをやっていく、ストライキをやる、こうやって大学が学問を使って金儲けしていく、学生から学費を搾り取っている、こういう大学の制度をつくろうとしていた大学を韓国の学生はデモとストライキで止めました。この闘いは、多くの人々の勇気になり、力を与え、パク・クネをたおし、いま獄中にある。社会を変え、政権を引きずり下ろす闘いを実現しました。

みなさん、この沖縄大学の破綻点は、彼らが僕ら沖大生をどこまでも低めて舐めきっていることです。こういう現実ありませんか？でも、みなさん、去年僕と一緒に声を上げてくれた学生は、ずっと一年間大学職員に、「自治会やめろ、話すな、関わるな」こういうふうに言われたけど、一年間ずっと突っぱねて、「今日の集会にも行きたい」と語ってくれました。僕ら沖大学生自治会は、昨年、沖大職員が自治会選挙中に、僕を羽交い締めにして、キャンパスから暴力をもって追放する。そういう中でも沖大生が反乱起こして、投票するっていう学生を職員が暴力をもって、弾圧する。でもこの中でも投票する。こういう中で僕ら沖大自治会は維持され、今日もここに立っています。

みなさん、悪いことは絶対続かないですよ。悪いことが終わるのは、僕ら学生がふざけるなって怒りの声をあげて、今日の集会や学生自治会を契機に団結して立ち上がるときだろうと思います。

昨日僕は辺野古に言ってきました。多くの人が沖大学生自治会の存在に感動してくれました。

辺野古でも若い人が少ない、そういうふうに言われますけど、まさに学生が社会について考えられない、行動する気力を奪っているのは大学じゃないですか。

今日僕らがこのキャンパス集会でもって、学生の貧困や、学生をボロボロに使い捨て、舐めきって、ビラまき禁止や集会禁止の学則を強いているこの沖縄大学を変える、この闘いは僕ら学生が、社会を変える存在なんだ、こうやってキャンパスで登場する。何千、何万という規模で沖大生がキャンパスに登場する、こういう闘いをつくりだすと思います。

いま沖縄国際大学も沖縄キリスト教短期大学も琉球大も、多くの学生が学費や奨学金でくるしんでいる。僕ら沖大生がこの沖縄大学の支配を、学生を貧困にして金儲けしている、この支配を突き破って、この沖縄から辺野古新基地建設をとめる、基地や戦争を繰り返してきた歴史を終わらせる。この闘いを僕ら沖大生が切り開いていきましょう。

今日デモをやります、いろんな人が見てくれると思います。デモをやったこの日を、沖縄大学をひっくり返していく一つの転換点にしていきましょう。